



池上四郎

鹿兒島の士族
武勇の人々西郷と俱に能く
出陣一方乃將して多勢の戦ひ官兵と
枕敷も御舟の敗走も重傷を召ひ割腹
し黒しと

桐野利秋

桐野利秋へ鹿兒島の人始
姓中村といふ人より強壯は武勇長才維新の際
軍を従ひ屢々大功ありて進軍を遂げ陸軍
少将に擢らるる西郷と其中和せ征討論發り
西郷と論争同しを以て無の黨と隆盛等と
群る隆盛と群る桐野は遂に今回の暴動に
及ぶしと

淵邊高照

淵邊高照は武勇
達し功ありて度官に進じも頑固
うと方向違ひ西郷桐野等と熊木は出陣
士卒を指揮するも足らず
之を官軍若戦するに
度されど久し天兵も抗ざるをんや

西郷小平

西郷小平は文武兼備の才あり暴徒等出陣の前
熊本城を陥るの戦果を遂げ隆盛と用ひ兵
名を先んず大
軍を陣と東上と謀り
熊本の如きは風を望んで
潰散せんと云ひし
後小平は熊本を戦死せり

西郷隆盛

西郷隆盛は吉之助と稱し其才非凡なり
和漢の字も通じ嘗て尊攘の説を振ふ
四方を結ぶ以難

新政厚子

村田新八

村田新八は鹿兒島の士人成辰の隠功ありて官途に進む
且洋行して兵を学び帰朝の後西郷と俱に群る
國ふる今回暴徒の將して各府に於て天兵と抗戦す

明田啓次郎

明田啓次郎は佐土原藩知事
一男より西郷兵と奉つと
明田土原藩の延岡欲肥高銅の士族と
相討して自の將となり薩兵と俱に熊本
陣出し端をちてて天兵と抗戦す

前原一裕

前原一裕は長州の
族前原一裕の
木守より一誠
前原の一族は長州に今回暴徒を
ひきこみ出陣し戦ひ
白布を巻いたる
白布を巻いたる
白布を巻いたる

後藤原國幹

後藤原國幹は肥後
城を圍む借植木田原坂を攻め
落命す

應需大権

應需大権
明治二十七年
三月

